

第42回金ヶ崎マラソン大会

颯爽と金ヶ崎路をかける



令和6年10月から児童手当が一部変更になります

令和6年10月分から予定されている児童手当の制度改正をお知らせします。

【主な変更内容】

- 支給対象児童を高校生年代まで延長
- 所得制限の撤廃
- 第3子以降となる児童のカウント方法の変更
- 第3子以降の支給額を児童一人あたり月額30,000円に増額
- 支給回数を年3回から年6回（偶数月）に変更

	令和6年9月分（10月支給分）まで	令和6年10月分（12月支給分）以降
支給対象児童	中学校修了まで （15歳到達後の最初の年度末まで）	高校生年代まで （18歳到達後の最初の年度末まで）
所得制限	あり	なし
児童の人数のカウント方法	高校生年代までの児童をカウント	22歳の年度末まで（親等の経済的負担がある場合）の児童をカウント
支給額	3歳未満 一律 15,000円 3歳～小学校修了まで 第1子、第2子 10,000円 第3子以降 15,000円 中学生 一律 10,000円 所得超過による特例給付 一律 5,000円	3歳未満 第1子、第2子 15,000円 第3子以降 30,000円 3歳～高校生年代 第1子、第2子 10,000円 第3子以降 30,000円
支給回数	3回（2、6、10月） 各前月までの4か月分を支払い	6回（偶数月） 各前月までの2か月分を支払い
支払通知書	支払日の前に送付	廃止



一部変更後の初回支給は令和6年12月（10月、11月の2か月分）です。令和6年10月の支給については、変更前の制度で支給します。今後の手続き等は町ホームページにてお知らせしていきます。

なお、公務員の方の申請先は勤務先になります。

☎ 子育て支援課（☎44-4611）

令和6年度子育て支援員研修受講者を募集します！！

「子どもが好き」「保育に関わる仕事がしたい」「保育士不足対策の手助けをしたい」などの興味がある人、保育の現場で保育士の補助をするために必要な知識や技術を取得したと認められる全国に通用する「子育て支援員研修（地域保育コース）」を受講してみませんか？

- 対象者
 - ・町内に在住または就労（保育や子育て分野）の人
 - ・地域型保育施設等で保育補助員として勤務する事を希望する人

- 内容
 - ・5日間の講義（9月6日、20日、10月4日、18日、10月30日）・2日間の実習
- 受講料 テキスト代：2,860円+送料440円・実習前の腸内検査料660円・実習時の給食代 他
- 場所：金ヶ崎町役場内
- 申込期限：7月26日（金）

☎ 教育委員会事務局（☎42-2111）



第42回金ヶ崎マラソン大会は6月2日、森山総合公園陸上競技場を発着点とする特設コースで開かれました。2キロ、5キロ、10キロ、ハーフの4部門31種目に町内外から1329人が参加し、金ヶ崎の景色や仲間との競争を満喫しました。ハーフには招待選手として、東京オリンピック男子マラソン日本代表として活躍した服部勇馬さん（トヨタ自動車陸上長距離部）や各マラソン大会で活躍している西田壮志さん（トヨタ自動車陸上長距離部）、岩出玲亜さん（デンソー女子陸上長距離部）が参加ランナーと一緒に走りました。

選手宣誓では伊東伸也さん（檀原）家族が「楽しく完走したい」と誓い、宣言通り家族一緒に笑顔でゴールしました。

5キロの部に参加した佐藤恵美さん（秋田県）は「来た甲斐があった。地元のマラソンにも参加しているが、金ヶ崎のきれいな景色を見ながら走るのもとても楽しい。また来年も参加したい」と充実した表情を見せました。

沿道では様々なコスプレをした恒例の私設応援団が選手たちに声援をかけた大会を盛り上げました。

- 1 選手宣誓を行う伊東さん家族
- 2 一緒に参加する仲間たちと健闘を誓う
- 3 ハーフの部がスタート
- 4 家族仲良くゴールイン
- 5 ゴールに向かってラストスパート
- 6 金ヶ崎の新緑を楽しみながら走る
- 7 沿道の応援団も力をこめて声援を送る